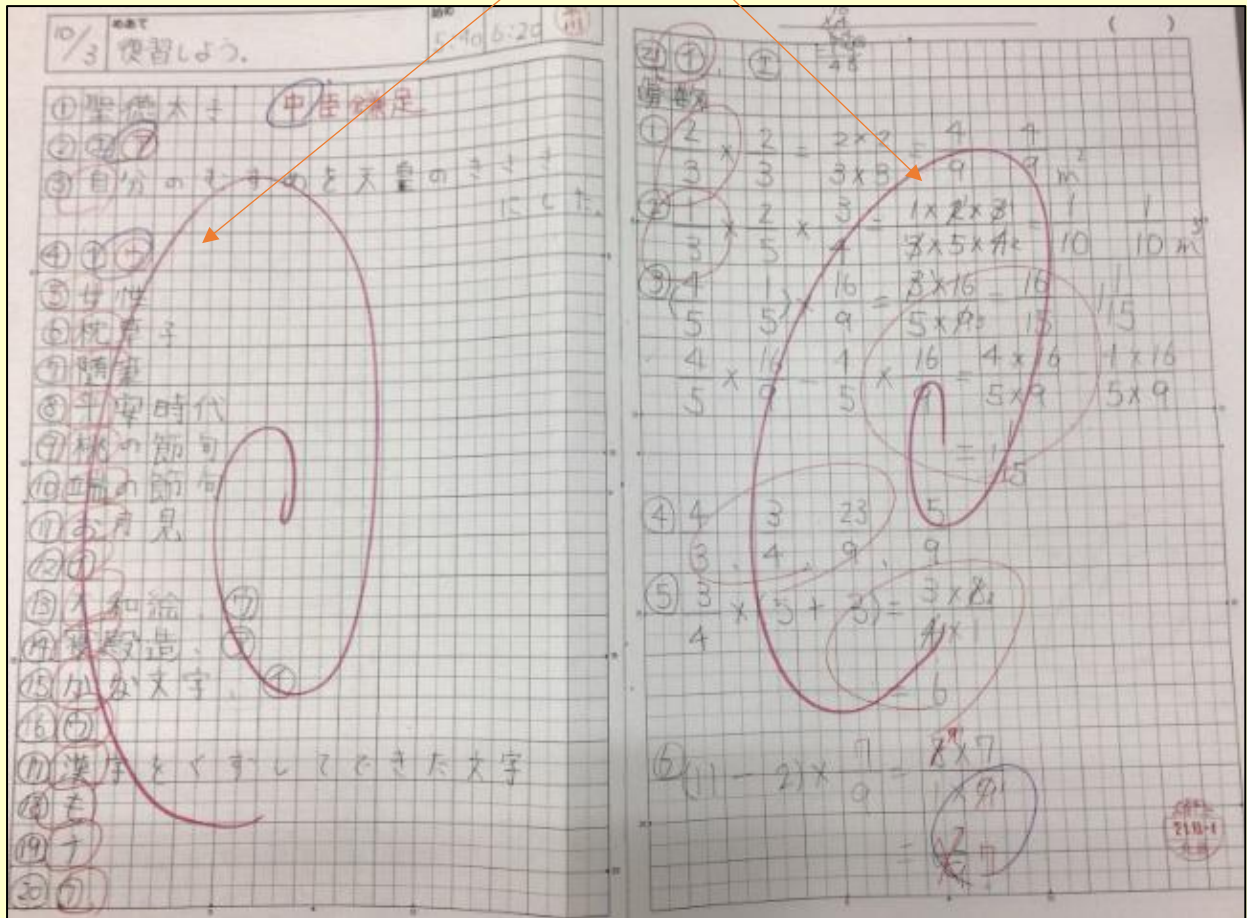
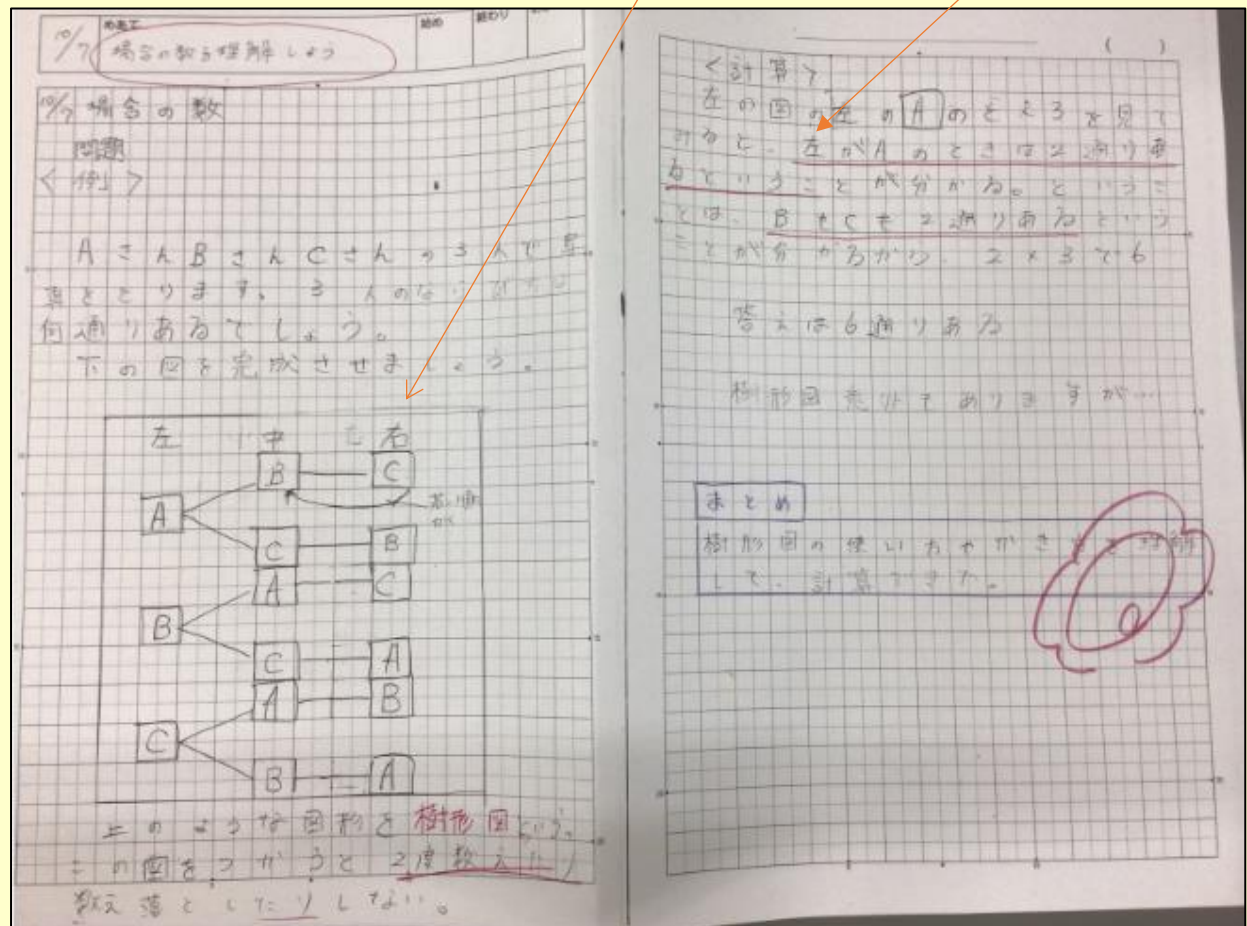


# 10月「6年生」のステキな「学びノート」紹介①

6年1組 HFさん 社会・算数の学び 問題演習を多く解いて、力をつける学習をしています。



6年2組 IKさん 算数の学び 算数の問題を、図や言葉で説明しながら計算しています。



# 10月「6年生」のステキな「学びノート」紹介②

6年3組 NAさん 理科の学び 月と太陽の特徴を比較できるように、分かりやすくまとめています。

**月の様子**  
 月の形は、球形です。  
 (月の見え方)  
 満月 半月 新月  
 (表面の特徴)  
 たくさんのお月影がある。  
 クレーターがいくつかある。  
 山や谷がいくつかある。  
 (光の性質)  
 自ら光を出していません。  
 太陽の光を反射して、光を地球に届けています。  
 (その他)  
 直径 約 3500 km  
 地球からの距離 約 380,000 km  
 月は地球の手前をまわっています。

**太陽の様子**  
 太陽の形は、球形です。  
 (太陽の大きさ)  
 非常に大きいです。  
 (表面の特徴)  
 とてもあついです。  
 (その他)  
 直径 約 1,400,000 km  
 地球からの距離 約 150,000,000 km  
 地球が太陽のまわりをまわっています。  
 (その他)  
 太陽は自ら光を出しています。

6年4組 WAさん 理科の学び 月の満ち欠けについて、自分の言葉でまとめ復習しています。

ある日、満月が出たとすると、次の日からだんだんかかっていきます。そして、月の出ない日になります。でもその後はだんだん丸くなっていきます。  
 ○なぜ満ち欠けするのか  
 約15日ごとに同じ変化をくり返すことが分かったそうです。これは月と太陽の位置が同じになる周期が約15日だからです。  
 月は自ら光を出しません。太陽の光に照らされている部分が見えるようになっていきます。つまり月の日なたです。太陽の光が当たってないところは黒く見えます。宇宙空間の黒と同じ色だから、月が欠けているように見えます。月が地球を回るき道のところによって、日なたと日かげの割合が変わるから、満ち欠けします。月が出る時刻も、空にたいなしている時刻も日によって変わります。

地球から見た月の太陽の光のあたり方  
 この月をどの角度から見るかによって、地球から見た月の形が変わる